

指定管理者モニタリング評価シート

評価対象年度： 令和 4 年度

施設所管課： 七山市民センター産業・教育 課

1 施設の概要

施設名	唐津市鳴神温泉なのゆ	所在地	唐津市七山滝川1150番地
設置目的	温泉を利用した施設を設置することで観光及び産業の振興に寄与し、かつ、地域住民の健康及び福祉増進のため憩いと交流の場を提供し、地域の活性化を図るもの		
休館日	毎月第一火曜日 1月1日及び12月30・31日	開館時間	午前10時から午後9時まで

2 施設の利用状況

説明	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	利用状況の傾向と増減の要因
入館者数	153,540 人	92,981 人	106,773 人	132,516 人	

3 指定管理者の概要

指定管理者	名称	株式会社鳴神温泉		
	所在地	唐津市七山滝川1150番地		
	代表者	代表取締役 鬼塚 晃		
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日			
指定管理者の業務内容	(1) 鳴神温泉の利用の許可に関する業務 (2) 鳴神温泉の施設及び設備の維持管理に関する業務			
事業の実施状況	1 鳴神温泉の利用の許可に関する業務 ・施設利用料の徴収 2 鳴神温泉の施設及び設備の維持管理に関する業務 ・施設及び付属施設の維持管理及び建物修繕及び施設内の清掃			
職員の配置状況	常勤 正規職員、フルタイム等	非常勤 嘱託・臨時職員、パート等	常勤の内訳	
	10 人	18 人	支配人1人、料理長1人、調理担当2人、総務経理1人、フロント1人、メンテナンス2人、レジ接客2人	

4 指定業務の収支状況 ※仕様書や協定書に記載された業務

単位：円

	令和4年度 決算額	令和3年度 決算額	増減額
収入	75,877,579	59,455,893	16,421,686
指定管理料	0	0	
利用料金収入 ※利用料金制の場合のみ	62,676,020	48,192,900	14,483,120
その他収入	13,201,559	11,262,993	1,938,566
支出	70,995,850	61,639,465	9,356,385
人件費	26,075,445	25,277,026	798,419
施設管理費	39,803,964	34,776,065	5,027,899
光熱水費	25,825,633	22,268,312	3,557,321
修繕費	1,277,430	781,742	495,688
広告宣伝費	692,001	367,802	324,199
保険料	65,753	96,058	-30,305
事務費	10,740,293	10,059,325	680,968
その他	1,202,854	1,202,826	28
施設使用料	1,698,000	1,200,000	498,000
その他支出	3,418,441	386,374	3,032,067
収支	4,881,729	-2,183,572	7,065,301
前年度の損失補填額を除いた 実際の収支	-8,318,031	-13,168,145	
利益配分額	-	-	

5 自主事業の収支状況 ※行政サービス向上のため、自主的に行う事業

単位：円

	令和4年度 決算額	令和3年度 決算額	増減額
収入	80,633,396	62,486,559	18,146,837
料理売上等	57,366,330	39,877,411	17,488,919
自販機、テナント等	12,022,492	9,727,249	2,295,243
その他収入	11,244,574	12,881,899	-1,637,325
支出	74,298,119	65,067,317	9,230,802
人件費	30,411,201	29,983,568	427,633
光熱水費	6,526,474	5,442,143	1,084,331
事業費	33,817,891	28,655,749	5,162,142
その他	3,542,553	985,857	2,556,696
収支	6,335,277	-2,580,758	8,916,035
前年度の損失補填額を除いた 実際の収支	-381,013	-7,678,797	

6 項目別評価

評価項目		評価の根拠 (確認資料等)	自己評価	市の評価
評価の視点				
1 業務の履行状況				
(1) 運営業務（全般）				
①運営管理	条例、協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守しているか。	業務日誌	適	適
	使用料または利用料金の徴収、減免手続き等を適切に行っているか。	業務日誌	適	適
	施設の利用者数、稼働率を適切に管理しているか。	業務日誌、事業報告書	適	適
②人員体制	施設の管理運営に必要な資格、経験等を有する人員が過不足なく配置されているか。	業務日誌、事業報告書	適	適
	従業員の労働条件は適正であるか。	業務日誌、事業報告書	適	適
	従業員の資質向上のための指導、研修等を適切に実施しているか。	業務日誌、事業報告書	B	B
③管理記録	業務日誌等を適切に記録し、保管しているか。	業務日誌、事業報告書	適	適
④連絡調整	協定書等に定めた各種報告書を、期限内に市に提出しているか。	業務報告書、実地調査	適	適
	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	業務日誌、事業報告書	適	適
⑤危機管理	基本協定に定めるリスク分担に従い、適切な対応を行っているか。	業務日誌、事業報告書	適	適
	緊急時に直ちに措置を講じ、市に報告を行ったか。	業務日誌	適	適
	緊急時の連絡体制、マニュアルを整備し、定期的に研修、訓練等を行っているか。	業務日誌、実地調査	B	C
⑥個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守しているか。	実地調査	適	適
	施設利用者等の個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じているか。	実地調査	適	適
(2) 維持管理業務				
①維持管理	省エネルギー、省資源など環境への配慮がなされているか。	実地調査	適	適
	施設や設備、備品等の保守管理（点検や修繕等）を適切に行っているか。	実地調査	B	B
	清掃、警備、衛生管理その他施設管理に必要な業務を適切に行っているか。	実地調査	B	B
②再委託	再委託にあたり、事前に契約方法及び契約事項を市に報告しているか。	実地調査	適	適
	再委託先からの業務報告を受けるなど、履行状況を適切に管理しているか。	実地調査	適	適

2 サービスの質				
(1) 運營業務（利用者対応、情報発信等）				
①利用者対応	施設利用者に対して、設備、備品等を適切に提供しているか。	業務日誌	適	適
	施設の利用許可、案内等を迅速かつ適切に対応しているか。	業務日誌	適	適
	施設利用者への言葉使い、態度、服装等、接遇が適切であるか。	業務日誌	適	適
②苦情等対応	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告しているか。	業務日誌、Google等	適	適
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	業務日誌、Google等	B	B
③利用者アンケート	適切な利用者アンケート調査を実施し、その結果が良好であるか。	お客様アンケート	B	B
	利用者アンケートの結果に基づき、適切な改善策を講じているか。	お客様アンケート	B	B
④施設の利用状況	施設の利用者数、稼働率等に関する目標を達成しているか。	業務日誌、事業計画書	C	C
⑤情報発信	利用者の利便性向上のため、ホームページ等の更新、管理を適切に行っているか。	ホームページ	適	適
	各種媒体を利用し、事業、イベントの開催案内等の広報を適切に行っているか。	HP、FB、インスタ、LINE、GMB	A	A
(2) 事業実施状況				
①事業実施状況	事業計画に定めた事業を適切に実施しているか。	業務日誌、事業計画書	適	適
	施設の設置目的に沿った自主事業を実施し、市民サービスの向上が図られたか。	事業計画書、実地調査	B	B
(3) 地域貢献				
①地域貢献	地元雇用を積極的に行っているか。	業務日誌、事業計画書	適	適
	地域の意向に沿った運営や、地域活動への参加・協力を行っているか。	業務日誌、事業計画書	A	A
	地元事業者からの物品調達など、地元を活用した運営がなされているか。	業務日誌、事業計画書	B	B
3 継続性・安定性				
(1) 運營業務（経理事務、予算執行等）				
①経理事務	専用口座、帳簿等を備え、指定管理業務に係る経理区分が明確に整理されているか。	出納簿、事業報告書	適	適
②予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	出納簿、支出証拠書類簿、事業報告書	適	適
③取引状況	取引先等の関係業者との関係は良好であるか。	出納簿、事業報告書、実施調査	適	適
(2) 収支状況				
①経費縮減	施設の管理運営に係る経費が縮減されているか。（経費削減に努めているか。）	出納簿、事業報告書、実施調査	B	B
②収入増加	収入増加のための取り組みがなされているか。	事業報告書、実地調査	B	B
③収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当であるか。（目標を達成しているか。）	事業報告書	B	B

※ 上記の評価項目、評価の視点は標準的なものであり、施設の特性に応じて調整（追加、削除）を行うこととする。

6 総括評価及び総合評価

総括評価	1 業務の履行状況	B	指定管理者の管理運営に対する評価・コメント 新型コロナ前までとはいかないが利用客数が戻りつつある状況を踏まえ経営状態は回復してきており、補填はあるものの平成29年以来の株主配当ができた。唐津市民を対象としたイベントや周年記念等のサービスにも力を入れ利用客数の増加を図っている。なのゆの指定管理者として長年の運営により地元の信頼があり雇用の安定的な創出に貢献している。
	2 サービスの質	B	
	3 継続性・安定性	B	
総合評価		B	